

国指定天然記念物(動物)

美郷のホタルおよびその発生地

指定年月日：1970(昭和45)年8月29日指定

所在地：吉野川市美郷全域

所有/管理者：吉野川市教育委員会

美郷には、ゲンジボタルをはじめ、ヘイケボタル、ヒメボタル、オバボタル、オオマドボタルの5種類が確認されている。ホタルの発生が特に多く確認されて

いる範囲は、川田川の大正橋付近から田平橋付近までの約4.8kmであるが、支流の種野谷川、中の谷川、奥丸谷川などでも多く確認されている。

1966(昭和41)年に地元有志によって「ホタル愛護の会」が発足し、ホタルの保護活動が地域をあげてはじめられた。また同じ頃、当地域の中枝小学校(現在閉校)においては、子どもたちが原田一美教諭指導のもとに「ホタル研究クラブ」を発足し、ホタルの観察、飼育がはじめられた。地域住民が中心となった一連の活動は、この地域のホタルとそれらが発生する環境の学術的な価値が全国的にみとめられるきっかけとなった。

美郷の河川流域をホタルが発光しながら乱舞する光景は、「光の吹雪」とも例えられるほどである。2000(平成12)年には「美郷ほたる館」(現「吉野川市美郷ほたる館」)が開館し、ホタルの保護、調査研究や野外活動の拠点となっている。



yoshinogawa city

故郷を知る!! 第24回



本号に掲載している各種行事・イベント等は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、開催を中止または延期する場合がありますので、詳しくは担当課もしくは主催者に問い合わせください。

編集後記

新型コロナウイルス特措法に基づく政府の緊急事態宣言発令から1カ月、今年のゴールデンウィークは自宅で過ごしたという方も多かったのではないかと思います。私も外出は極力控え、録りためていたビデオを見たり、買ったけれど読んでいなかった本を読んだりして「おうち時間」を楽しみました。

このような状況の中、市内の各種イベントや催しも次々と中止または延期が決まり、広報担当としても取材のネタがなく、ほとほと困り果てています。本号掲載の催しも無事開催できるかどうか。皆さんもご参加の際には市ホームページ等で最新情報をご確認ください。

これから夏に向け、本来なら各地でイベント目白押しのはずなのに。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願ってやみません。

(編)